

女性の元気が東北を元気に！
「とうほくIPPPOプロジェクト」
第9期募集締め切り迫る
支給金額は30万円～最大300万円まで

株式会社フェリシモ（本社：兵庫県神戸市、代表取締役社長：矢崎和彦、証券コード：3396）は、女性による東北の産業復興活動を資金面で支援する「とうほくIPPPO（いっぽ）プロジェクト」を全国のお客さまと一緒にやってまいりました。東日本大震災に対する息の長い復興支援の必要性から10年継続することを目指してまいりました。

要項・申請書類はこちら>> <https://feli.jp/s/pr190911/1/>



◆「とうほくIPPPO（いっぽ）プロジェクト」について

「とうほくIPPPOプロジェクト」の目的は、主催・責任者、主体者メンバーが女性であることを条件に事業提案を公募し、選ばれた個人・団体に支援金を支給して、被災地の産業や文化・コミュニティ復興のきっかけづくりにつなげることを目的としています。原資は、全国のフェリシモのお客さまよりお預かりした「東日本大震災 毎月100円義援金（基金）」や「東日本大震災 もっとずっときつと基金」付きの東北ゆかりの商品による基金です。審査を通過した事業提案に支給される金額は、原則として1対象につき30万円前後～最大300万円までを上限とします。（コミュニケーション部門は最大20万円）第9期の応募締め切りは10月1日です。

◆第9期募集について

募集期間：

2019年3月25日（月）～2019年10月1日（火）

対象となる活動実施期間：

2020年4月 1日（水）～2021年3月31日（水）

過去のレポートはこちら

「フェリシモ東日本大震災 復興支援ポータルサイト」>> <https://feli.jp/s/pr190911/2/>



第4期支援先「ももがある」(福島県福島市)
 設立の物語と活動の状況はこちら>>
<https://feli.jp/s/pr190911/3/>



第5期支援先「蒸しパン Once」(宮城県石巻市)
 設立の物語と活動の状況はこちら>>
<https://feli.jp/s/pr190911/4/>

募集要項【A・B共通】

〈対象となる活動〉

【A】「とうほくIPPOプロジェクト 起業・事業化部門」

起業、事業化等、産業復興につながる経済活動。東日本大震災による被災地（人々、街、産業）を元気にする事業活動。

【B】「とうほくIPPOプロジェクト コミュニケーション部門」

催事や集会、イベントや行事、その他地域の交流につながる集まりなど。東日本大震災による被災地（人々、地域）内外の交流を活発にする活動。

〈対象者〉

被災地の産業復興支援に貢献するアイデアと実行力を持つ女性

※東北在住の個人・団体に限ります。

◎個人、グループ、団体など形式を問いませんが、責任者、主体者が女性であること。(活動メンバーに男性が含まれる場合も認めます)

◎営利団体、非営利団体は問いません。

◎事務局による情報収集や、第三者から推薦された個人・団体等も対象とします。

◎プロジェクトを遂行する能力を有し、支援金を管理する能力を備えた個人・団体。

◎被災地に密着した取り組みができる個人・団体とし、活動主体者の所在地が、東北地方や被災地にあることに限定します。

※過去にご支援した活動についても、効果が優れていた場合は複数期にわたって支援対象とする場合もあります。

◎当プロジェクトの支援金のみで行われる活動も、当プロジェクトの支援金と合わせた資金によって行われる活動も審査の対象とします。

◎新規の事業活動に限らず、既存の事業活動の一部資金としての申請も可能です。

◎【A】については、人件費、家賃、仕入などランニングコストの用途よりも、設備や備品購入など長期的に残る資産への用途のほうが望ましい。

〈支援金について〉

【A】起業・事業化部門

原則として1対象につき30万円～最大300万円までを上限として支援金を支給します。

【B】コミュニケーション部門

原則として1対象につき最大20万円までを上限として支援金を支給します。

〈審査ポイント〉

【A】起業・事業化部門

当プロジェクトの趣旨に沿うこと、実行が可能なことを前提に、事業としての「実現性」、「継続性」、「発展性」を審査させていただきます。

【B】コミュニケーション部門

当プロジェクトの趣旨に沿うこと、実行が可能なことを前提に、交流事業としての「必要性」、「企画内容」、「運営体制」を審査させていただきます。

〈応募の方法〉

フェリシモ企業情報ページ >> <https://feli.jp/s/pr190911/1/>

上記ウェブサイトから「申請書類フォーマット一式 (word形式)」をダウンロードの上必要事項を記入し、郵送・FAXで下記宛送付いただくか、または同ウェブサイトの「応募フォーム」からエントリーしてください。

【郵送の場合】

2019年10月1日(火) ※消印有効

※ご提出いただいた書類確認は、申請締め切りの2019年10月2日以降に行います。

【インターネット・FAX 募集の締切日】

2019年10月1日(火) 23:59まで

〈審査スケジュールならびに審査方法〉

[一次審査] 2019年10月中旬

事務局が中心となり、申請書類の内容をもとに審査させていただきます。

[二次審査] 2019年11月～2020年1月

必要に応じて代表者に対して現地でのヒアリングをさせていただきます。

[最終審査] 2020年2月
提出書類や二次審査の結果を参考に最終審査をさせていただきます。

〈決定時期〉
[結果発表] 2020年3月上旬
申請者に対し結果を通知、また「とうほくIPPOプロジェクト」ウェブサイトなどで発表します。

〈助成金額〉
1件あたりの上限額：【A】3,000,000円 【B】200,000円

〈実施報告〉
支援金の支給を受けたプロジェクト申請者は、月1回程度、当プロジェクト公式ウェブサイトなどで活動報告をしていただきます。また、3年間にわたって、1年ごとの収支・活動報告書をご提出いただきます。

〈よくあるご質問（FAQ）〉
Q. どのような活動・経費も支援対象になりますか？
A. とうほくIPPOプロジェクトは、事業継続が見込まれる活動を応援するものです。そのため諸経費を事業収入でまかなうことができるか、という点も審査の対象のひとつとなります。したがって将来的な事業収入が見込めない活動や、申請金額のうち人件費の比率があまりにも高い場合などは、持続可能性が低いと見なされる場合があります。

Q. ほかの助成金からの助成を受けていると、審査が不利になることはありますか？
A. すでに助成を受けていることが不利になることはありません。

Q. 団体の代表者が男性なのですが、応募は可能でしょうか？
A. 応募者が所属する法人、NPOなど団体の代表者が男性であっても問題ありません。ただし、申請する事業活動単位の活動責任者、主要メンバーは女性である必要があります。

Q. 提出した書類の内容に不備がないか、審査の前に事前確認してもらえますか？
A. ご提出いただいた申請内容は、応募締め切り後に確認しますので、個別の事前確認は承っておりません。審査を進めるうえで不明な点は、こちらからご連絡差し上げてお尋ねします。

◆東日本大震災支援活動について

フェリシモは「もっと、ずっと、きっと」という言葉をスローガンに、全国のお客さまと大きな応援団をつくり、復興につながる活動を続けています。そのうちのひとつの活動である「東日本大震災毎月100円義援金（基金）」は、お客さまに毎月一口100円の寄付による参加をいただき、今も全国のフェリシモのお客さまから毎月2万口以上が集まっており、累計で3億6千万円を超えています。また、弊社商品の一部を基金付きで販売し、お預かりした基金は「もっとずっときっと基金」として東日本大震災の復興支援、子ども支援に活用していただいています。

フェリシモ 東日本大震災 復興支援ポータルサイトはこちら>> <https://feli.jp/s/pr190911/2/>
過去の「IPPOプロジェクト」の近況もご覧いただくことができます。

◆応募に関してのお問合せ先

株式会社フェリシモ 広報部内
とうほくIPPOプロジェクト事務局（小池・中島・市川）
TEL. 078-325-5700 FAX. 078-331-1192
E-mail: press@felissimo.co.jp ※件名には「とうほくIPPOプロジェクト第9期」と必ずご記載ください。

～ともにしあわせになるしあわせ「FELISSIMO [フェリシモ]」～

— 会社概要 —

社名：株式会社フェリシモ

本社所在地：〒650-0035 神戸市中央区浪花町 59 番地

代表者：代表取締役社長 矢崎和彦

創立：1965 年 5 月

事業内容：自社開発商品をカタログやウェブサイトにて全国の生活者に販売するダイレクトマーケティング事業

◆ウェブサイト>> <https://feli.jp/s/pr190501/1/>

◆会社案内 (PDF) >> <https://feli.jp/s/pr190501/2/>

◆みなさまとともにしあわせ社会をめざす基金活動>> <https://feli.jp/s/pr190501/3/>

◆メディア関係者のみなさまへ

本件に関するお問い合わせ先

株式会社フェリシモ 本社広報部 (小池・中島・市川)

TEL. 078-325-5700 FAX. 078-331-1192

e-mail: press@felissimo.co.jp